

UCHIDA

電子チェックライタ

EG-200型



★いつでも取り出せますように、便利な所に保管しておいてください。

取扱説明書

このたびは、ウチダ 電子チェックライタ EG-200型
をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
あなたの片腕として末長くご愛用いただき、
お仕事の能率を上げられるために、必ず本取扱説
明書をお読みいただき、説明書どうりのお取扱い
をしてくださいますようお願い申し上げます。

目次

1	仕様	1
2	使用上の注意	2
3	各部の名称と働き	3・4・5
4	操作手順	5・6・7
5	本機のトラブルとその処置	8
6	インクロールの交換	8
	(インキローラーカセット)	

1 仕様

名 称	ウチダ 電子チェックライタ EG-200型
製品記号	EG-200型
入力桁数	最大9桁(蛍光表示管)
印字桁数	最大11桁(シンボル¥.※2桁・金額9桁)
印字スピード	1.8秒/行
印字方式	刻み込み字輪
インキング	インクロール方式
機能	印字、リピート印字、クリアキーによる入力訂正 ライトシフトキーによる入力訂正
最大印字奥行	47mm(奥行調整ダイヤルによる調整可)
外形寸法	(巾)200mm×(奥行)312mm×(高さ)125mm
重量	4.5kg
消費電力	常時7W, 印字時14W
電源	AC100V、50/60Hz
使用温湿度	温度0°~40° C、湿度80%以内
付属品	インクロール(インキローラーカセット)・ケースカバー

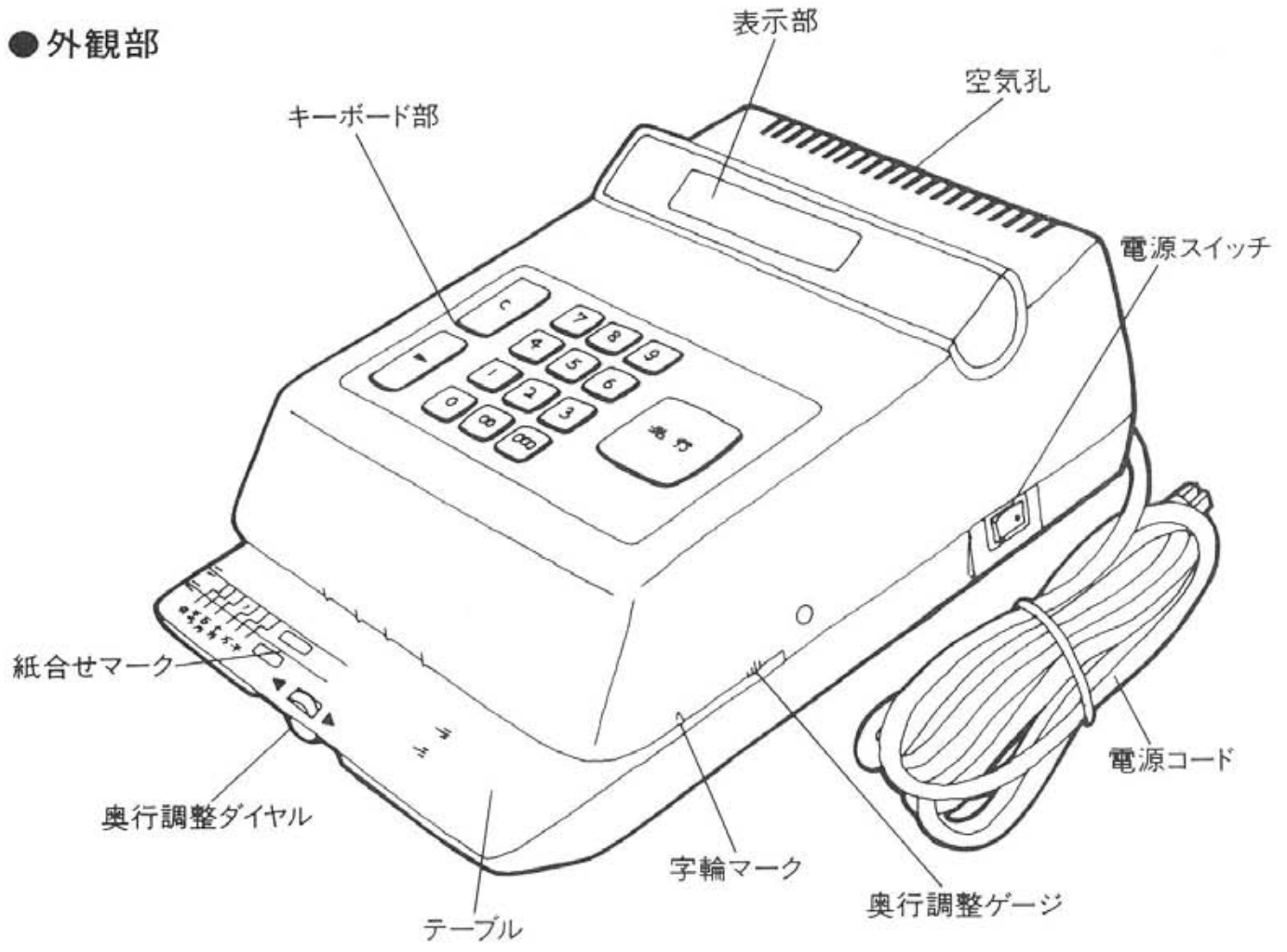
2 使用上の注意

●本機の故障を未然に防止するため、下記の事項を必ずお守りください。

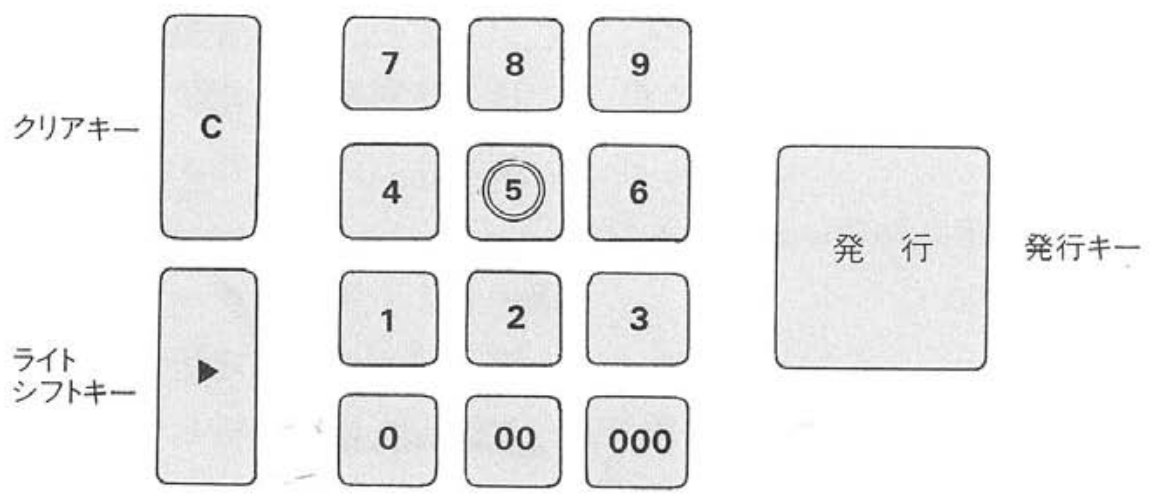
- ①電源は100V専用コンセントからお取りください。
- ②空印字をすると字輪の耐久性が落ちるばかりでなく、印字されたインクによって証券の裏をよごす原因になりますので、さけてください。
- ③紙以外のシートや証券用紙以上の厚紙（ボール紙等）には印字しないでください。
- ④証券用紙は、“折り曲り”や“シワ”があると鮮明に印字できませんので、きれいに伸してご使用ください。
- ⑤印字途中、本機の内部に指、ペン、針金等を差し込まないでください。
- ⑥印字途中、印字されている証券を抜かないでください。
- ⑦印字途中でコードを抜いたり、電源スイッチを切らないでください。
- ⑧電源スイッチの“ON”、“OFF”の繰返しを連続してやらないでください。
- ⑨インクロールは カセット式 ですので、印字がうすくなっても市販のインクやアルコール、油等の溶液を補給しないで、新しいインクロールと交換してください。
- ⑩本機を絶対に分解しないでください。
- ⑪精密機械ですので、振動や衝撃等を与えないでください。
- ⑫本機のごみを落とす際は、ベンジンやシンナー等では拭かないでください。また、中性洗剤等で拭く場合には、本機後部の空気孔に水分が入らぬようご注意ください。
- ⑬保管する際は、ケースカバーをかけ、直射日光の当る場所や、暖房装置の付近をさけて保管してください。

3 各部の名称と働き

● 外観部



● キーボード部



★キー・電源スイッチの説明

(数字キー)



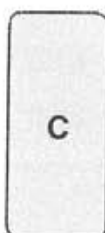
印字金額の入力に使用します。

(ライトシフトキー)



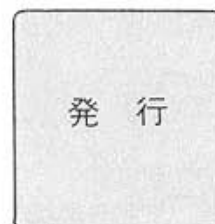
表示を1桁ずつ右に移して最下位桁の数を消します。誤って多く金額を入力した時や、最下位桁を訂正したい時に使用します。押した回数だけ最下位桁が消えます。

(クリアキー)



入力したすべての置数を消します。

(発行キー)

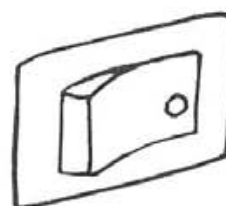


表示している金額を印字（プリント）します。

なお、同金額の印字には、連続押しが可能です。(リピート印字)

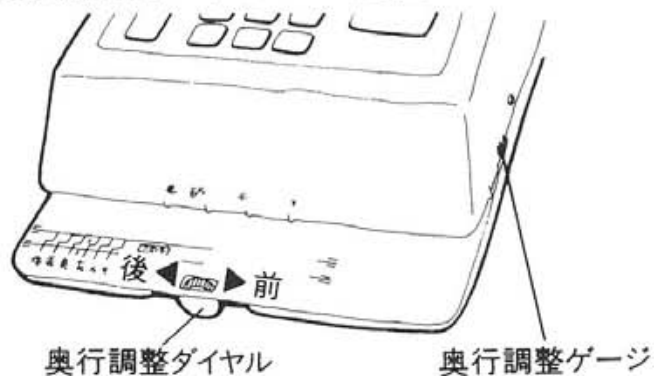
※表示が"0"の場合には、印字できません。

(電源スイッチ)



電源の"ON"、"OFF"スイッチです。
(白点側が"ON")

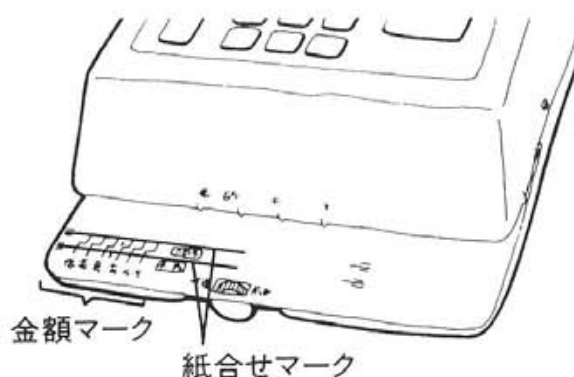
★奥行調整ダイヤルの説明



証券を印字する場所の奥行を調整したい時に使用します。ダイヤルは左へ回すと奥行調整ゲージが奥に移動し、右に回すと手前に移動します。

★紙合せマーク・金額マークの説明

紙合せマーク…証券の印字中心位置を決めます。
金額マーク……証券の印字左右位置を決めます。



★ケース金額マークの説明

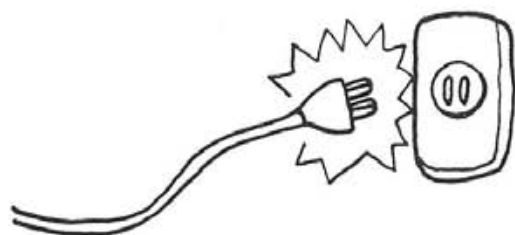


証券類以外に印字する場合(例：領収書)に金額の印字位置の目安としてご利用下さい。

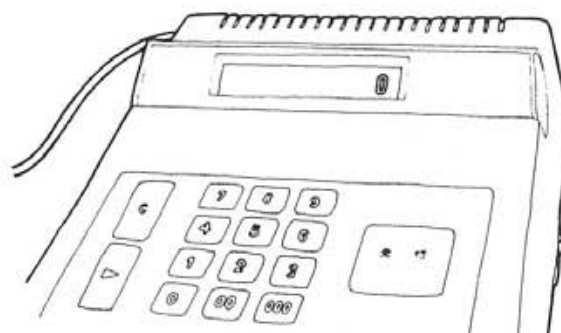
4 操作手順

1. 印字

①電源コードを100V専用コンセントに差込みます。



②電源スイッチを“ON”にします。作動音がして表示部の1桁目に0が表示され、発行準備が完了します。



- ③ 数字キーを押してご希望の金額を入力します。



(例) 7万円の手形を発行する場合

- a) 数字キーを **7** **0** **000** と押すと、表示部に70,000と表示されます。



- b) 印字中心位置の設定

手形用紙の表側を上にしてテーブルの上ののせ、止まるところまで差し込みます。次に奥行調整ダイヤルを回して図のようにテーブルに印刷されている紙合せマークの**手形**の位置に手形用紙がくるように調整します。

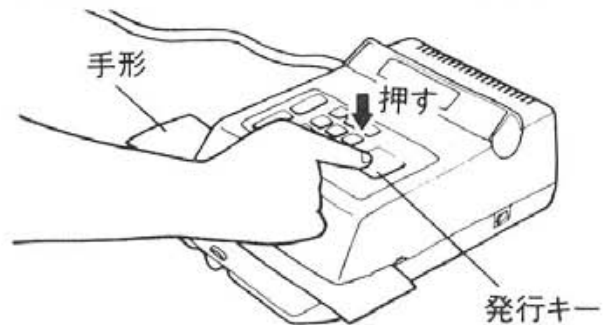


- c) 印字左右位置の設定

手形用紙を左右に動かし、ミシン部(切り取り線)をテーブルに印刷されている金額マークの万の位置に合せます。



- d) **発行** キーを押します。(印字完了)



印字見本



- e) 70,000円の手形がもう一枚必要な場合には、再度新しい手形を入れ、そのまま **発行** キーを押してください。






(リピート印字)

- 他の金額を発行する場合でも同様の操作を行ってください。
- ④ 次に別の金額を印字する場合には、ご希望の金額を数字キーを使ってそのまま入力してください。 **c** キーを押す必要はありません。

2. ライトシフト

表示を1桁ずつ右に移して最下位桁の数を消します。誤って多く金額を入力した時や最下位桁を訂正する時に使用します。

(例1) 9万円を9千円に変更して印字する場合

手順	キー操作	表示
1	  	90,000
2		9,000
3		9,000

印字見本

¥9,000※


(例2) 5万1円を5万円に変更して印字する場合

手順	キー操作	表示
1	  	50,001
2		5,000
3		50,000
4		50,000

印字見本

¥50,000※

お願い

2桁以上変更したい場合には、くり返し  キーを押してください。

3. クリア

印字後の表示金額を消したい時や誤って金額を入力してしまった場合、改めて入力し直す時に使用します。

(例) 12万円を13万円に訂正して印字します。
また、印字後の表示も消します。

手順	キー操作	表示
1	   	120,000
2		0
3	   	130,000
4		130,000
5		0

印字見本

¥130,000※

5 本機のトラブルとその処置

印字中トラブルが発生した時には、機械がロックされ動かなくなります。この場合、表示は9桁全部に“0”が表示され、“0”が点滅します。

その場合には、電源スイッチを“OFF”にし



て、再び“ON”にしてください。(軽度のトラブルの場合には、これでトラブルが直り、再びご使用になれます)

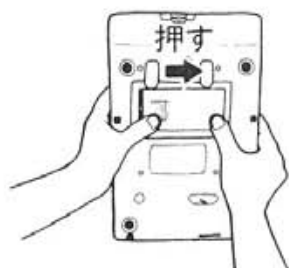
お願い

スイッチを“OFF”、“ON”しても“0”が点滅する場合には、電源コードを抜き、最寄のウチダサービス・ステーションまでご連絡ください。

6 インクロールの交換

本機使用中、印字がうすくなった場合には、下記の要領でインクロールの交換を行ってください。

- ① 本機裏面のインクロールドアを図のように▶方向に押しはずします。



- ② セットされているインクロールを引抜きます。



- ③ 新しいインクロールをプリスターパックより取出し、インクロールの溝でガイドをはさむようにセットします。奥まで差込んで、止まったところでセット完了です。



お願い

インクロールは別売になっておりますので、本機お買求めの販売店でウチダ電子チェックライタ EG-200型用「インキローラーカセット」とご指定の上、お買求めください。